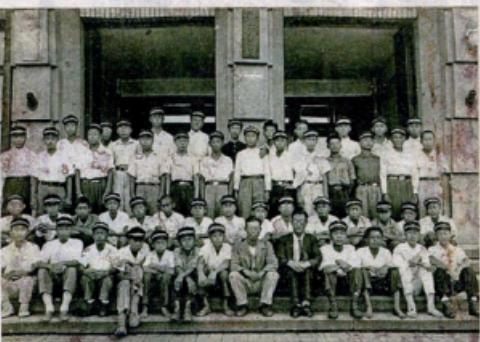


新制高等学校の誕生



京都市立中京高校 1年
1組の集合写真(1948年10月)
中京高校は元市立第一中学校で、男子校。校舎は元堀川高等女学校を利用したため、ブレードは女学校のままで



存在半年の「伝説」校も

先週のこの欄で紹介した新制中学校の誕生は、教育史上の「革命」と言つても過言ではないものでした。その翌1948年（昭和23）には、同じく連合国軍総司令部（GHQ）の意向のもとに、再び公立中等教育の改革が実行されます。新制高校等学校（以下、新制高校）

の誕生です。
京都府内では新制高
中学校や商業学
校、高等女学校
などでした。これらの
を、有無を言わさ
て「廢校」にして、
4月に一齊に誕生
のが新制高校だった
のです。

校の故に、同年10月に府内へ、旧域で再び改革が断行されました。その結果、市立校など、48年のいわゆる「伝説」のような学校が存在しなかつたなかで、48年生まれました。

小学区制も全
いる場所で、
が決まる。
制のことです。
制も併用さ
と訓練地域を
の増減や、
生などで入必
学区が変わ
で、特に19
84年までは
区委員があ
くと、学区制
は85年から
なる通行し
ました。

総合制とは、商業高校や工業高校を置かず、でじた原因は、東西で分かれきるだけすべての高校にれていたGHQの統治政策の違いと、同じ西日本で商業課程や工業課程を設けた京都からの距離による差です。だと考えられます。

（京都市立学校歴史博物館）
◎ 例えは、市立第一工業
学校（現市立洛陽工業高
校）は普通・商業・工業
学芸員 和崎光太郎

の3課程を持つ市立浴瀬高校になり、工芸学校ではなくなりました。しかし、この制度には、企画展「戦争と学校」や本格的に実施するには多くの費用がかかるなど問題が発生しました。

今回紹介した資料は、学校歴史博物館(下谷区)で10月6日まで開催中の「後70年をむかえて」で展示しています。